

7 休日・休暇

(1) 年間休日日数（集計表 第7表―①）

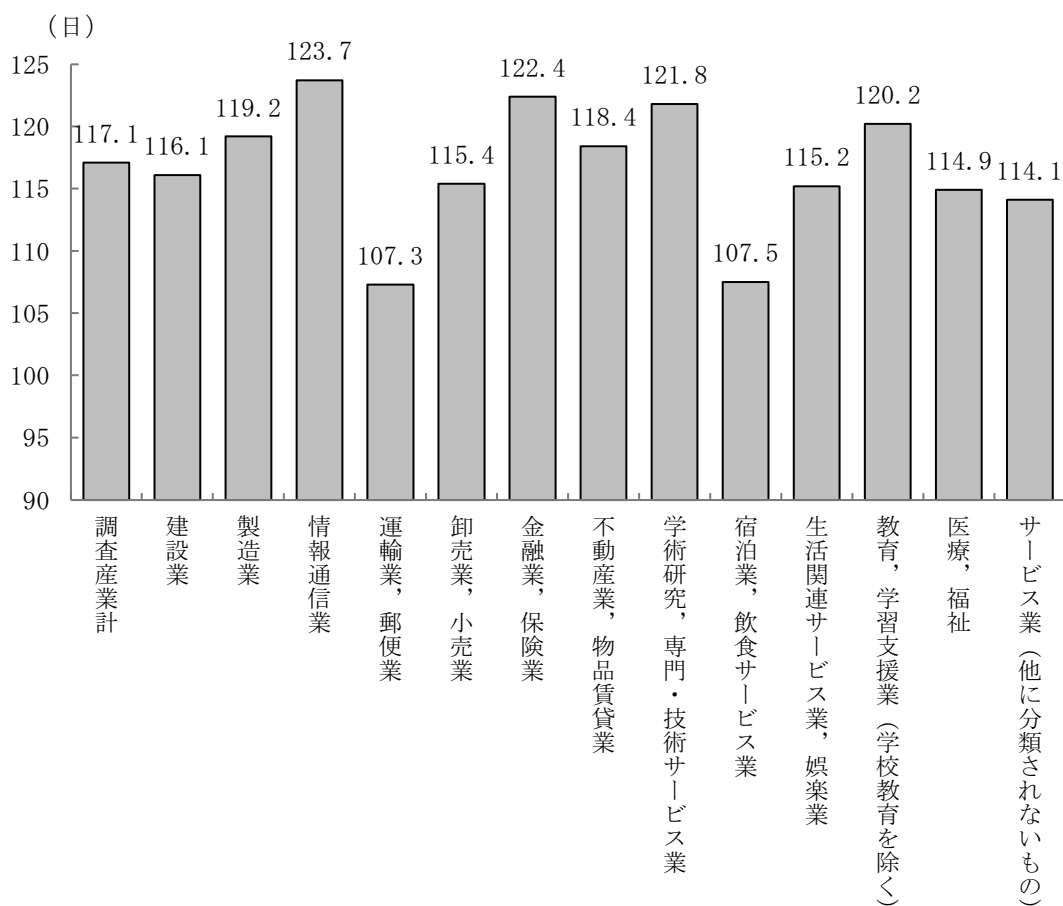
年間休日日数の平均は、117.1日であった。

産業別にみると、「情報通信業」が123.7日で最も多く、次いで「金融業、保険業」の122.4日となっている。

一方、最も休日が少ないのは「運輸業、郵便業」で107.3日であり、次いで「宿泊業、飲食サービス業」の107.5日となっている。

なお、集計企業のうち、年間休日日数を就業規則等で決めている企業は52.0%であった。

＜図表7－1＞年間休日日数



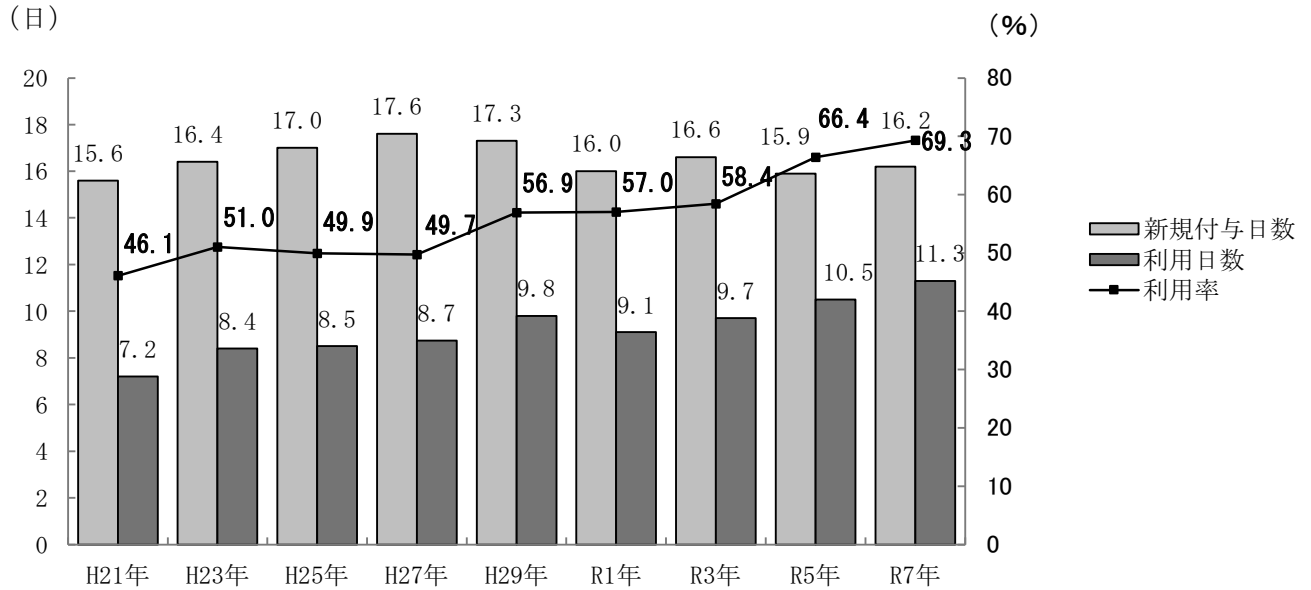
(2) 年次有給休暇の利用状況（集計表 第7表－②）

最近1年間の年次有給休暇の利用状況は、1人平均の新規付与日数は16.2日、利用日数は11.3日であった。

利用率（新規付与日数に対する利用日数の割合）は69.3%となっている。

利用率を産業別にみると、最も高いのが「不動産業、物品賃貸業」で81.4%、次いで「生活関連サービス業、娯楽業」の75.8%となっている。一方、最も低いのは「医療、福祉」の54.7%であった。

<図表7－2>年次有給休暇の利用状況の推移



<図表7－3>年次有給休暇の利用状況

